

報道関係 各位

2022年11月16日

1年半ぶりに ケープペンギンの雛が誕生しました バックヤードで元気に成長しています

四国水族館（館長：松沢 慶将 所在地：香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁4）は、2022年10月24日（月）にケープペンギンの雛が1羽誕生しましたのでお知らせします。



親のお腹の下にいる雛の様子（2022年10月28日撮影）

現在、高病原性鳥インフルエンザの感染防止対策のため、ケープペンギンの展示を休止しており、雛を含む全てのケープペンギンは屋内バックヤードで過ごしています。

約1年半ぶりに誕生した雛は、当館初の自然育雛で、両親の元で順調に成長しています。親が雛に口移して餌を与えたり、羽繕いをしてあげる様子などが見られ、両親とも積極的に子育てをしています。

生まれて2～3ヶ月までの期間だけ見られる、ふわふわの綿羽に覆われた姿や、親子が仲睦まじく過ごす様子をご覧いただけないのが心苦しいですが、日々成長する様子を当館のSNSで随時発信しますので、ぜひご覧ください。

高病原性鳥インフルエンザが収束する春ごろには、すっかり大人と変わらない程に大きくなっていると思いますが、展示再開する日を楽しみにお待ちしております。

**【ケーブペンギンの雛について】**

1. 孵化日：2022年10月24日（月）
2. 産卵日：2022年9月16日（金）
3. 孵化日数：38日間
4. 出生時の体重：65g
5. 現在の体重：609g（11月9日現在）
6. 当館での雛誕生状況：2021/2/16（愛称：うず）、2021/4/26（愛称：うた）に続く3例目となります。当館では初めての自然育雛です。
7. その他：
 - ・ 県内での高病原性鳥インフルエンザの発生を受けて、感染対策として11/8からバックヤードへ移動したため、ペンギンの展示を休止しています。
 - ・ 雛を近くで撮影した映像資料の提供が可能です。

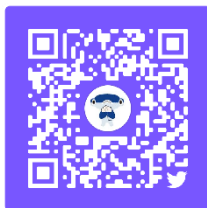
【ケーブペンギンについて】

学名：*Spheniscus demersus*

南アフリカに生息しており、年に2回繁殖期を迎える。ロバのような声で鳴きながら求愛行動をとる。

【四国水族館公式 SNS アカウント】

Twitter：@shikokuaquarium (<https://twitter.com/shikokuaquarium>)



Instagram：shikoku_aquarium (https://www.instagram.com/shikoku_aquarium/)



※当館では、業種別ガイドラインに沿った新型コロナウイルス防止対策を実施しています。館内では感染防止対策にご協力ください。また、ご来館についてはお住まい（生活圏）の自治体要請状況を踏まえてご判断ください。感染拡大状況によっては、一部展示・プログラムを中止することがあります。

<本件に関するお問い合わせ>

四国水族館 担当：片山

TEL：0877-49-4590/4598 FAX：0877-49-4600 Email：koho@shikoku-aquarium.jp